

くすのき

横浜市立西本郷中学校
横浜市栄区小菅ヶ谷 1-29-1
Tel 045-892-1911

第3号 令和5年6月23日

第43回 体育祭

校長 ひろぶち てっし
廣 渕 徹 志

“魂輝結笑”

< 選手宣誓 >



4色の体育祭実行委員による
選手宣誓

赤組	石附	奈桜さん
青組	松本	百花さん
黄組	鈴木	桃さん
緑組	池田	悠花さん

『魂輝結笑』のローグのもと、「第43回体育祭」を5月25日に開催いたしました。一昨年度の体育祭は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止、昨年度は体育祭途中の雨の為に二日間の開催となりました。今年度は“一人ひとりの個性が輝き、団結して取り組みたい。また、笑顔の結末を迎えられる体育祭にしたい”という意味をローグンとして、体育祭日和の中、多くの来賓と保護者の観戦の中、体育祭を実施いたしました。

午前中前半の「個人種目」では、それぞれが諦めることなく日頃の体育活動で培った自分の能力のベストを尽くしました。後半からは「色別競技」、「各種リレー」が行われ、昼食・休憩を挟んで、「部活動対抗リレー」、そして「学年種目」、「色別対抗男女混合リレー」、最後に3学年による「ソーラン節」を行い、閉会式で締めくくりました。「学年種目」や「色別対抗種目」では、クラスや色別による絆・団結力を

をいかに発揮できるか、熱のこもった競技が繰り広げられました。仲間を信じ、仲間を助けながら、取り組む姿勢が素晴らしかったと思います。また、体育祭の最終種目として、揃いの法被で、さすが3年生という気合いのこもった「ソーラン節」を披露することができました。

学校行事等で新しいものを創造することは大切なことですが、伝統を受け継いでいくことの大切さも三年生の「ソーラン節」の素晴らしい演技で下級生が感じてくれたと思います。通常の体育祭ができる喜びを感じ、声を掛け合い、励まし合うクラスや色別の団結力は素晴らしく、1・2年生の後輩たちにも3年生の取組が大いに参考になり、自分たちの代には体育祭を含め、様々な行事をより成長したものにしようという気持ちを持たせてくれたと思います。生徒も当たり前だと思い、おこなっていたものに対し、できる喜び、感謝の心を持たれた体育祭だったと思います。

ソーラン節前の円陣を組んで気合い！



【 色別のクラス 】

	赤	青	黄	緑
1 学年	3 組	4 組	1 組	2 組
2 学年	2 組	4 組	3 組	1 組
3 学年	1 組	2 組	3 組	4 組



色別総合優勝
黄組

色別総合成績

優勝 : 黄組
準優勝 : 赤組

学年成績

< 1 学年 > < 2 学年 > < 3 学年 >
優勝 : 1 組 2 組 2 組
準優勝 : 4 組 3 組 1 組

3 学年 優勝
2 組



みんな全力を出し切って
頑張りました！
西本チュウも嬉しくて
涙がでます！



< 体育祭実行委員長の言葉 >

みなさん、体育祭お疲れ様でした。今年の体育祭はコロナ禍が明け、3年ぶりに通常の体育祭を行うことができました。スローガンである“魂輝結笑”（一人ひとりの個性が輝き、団結して行く。笑顔の結末を迎えられる）という目標を達成することはできましたか。私たち3年生は最初で最後の通常の体育祭ができ、きっと全力で楽しめたと思います。1、2年生も来年、再来年とこの体育祭を引き継ぎ、最高の思い出になるように自分たちで創り上げていってほしいです。さらに、たくさんの種目で、クラスや学年、全校と協力し合い、応援のお陰でとても盛り上がったと思います。

最後に、体育祭の運営はたくさんの委員会や先生方の支えがあって成り立っています。なので、その方たちへの感謝の気持ちを持ち、これからのイベントに臨みましょう。

鈴木 桃（3-3）

部活動対抗リレー



3 学年 「ソーラン節」！



体育祭実行委員会のメンバー！



自然教室実行委員： 矢野 翔也 渡邊 心海 浅野 陽 田中 龍惺
木島 綾子 向出 光絵 渥美 奏 秦 悠蒼

私たち2年生は6月5日から6月7日までの3日間、長野県の戸狩に2泊3日の自然教室へ行ってきました。

私たちは自然教室に向けて、昨年の12月頃より自然教室準備委員会を立ち上げ、スローガンの決定や生活のきまりの作成などを行いました。特に「生活のきまり」については、学年全員で決めることを大切に、長い時間をかけて議論を重ねました。生活のきまりについては、「大原則」「バスのマナー」「持ち物」「服装」など項目ごとに各クラスで話し合って意見を出しました。その後、準備委員会で原案を作成した後、各クラスで再度意見や質問を受け付け、生活のきまりを決定していきました。様々な意見があり、全員が納得できる生活のきまりを作るために苦労したこともたくさんありましたが、みんなで作ったからこそ、みんなでルールを守る意識をより強くもつことができたように思います。自然教室を終えて、修学旅行へ引き継ぎたいルールなど、様々な反省が出ました。修学旅行では、より全員が守ることのできるルール、みんなが修学旅行を楽しめるようなルールを、今回の反省を活かして決めていきたいと思っています。

自然教室の体験では、箸作りや田植え、カヌーなど様々なものを行いました。自然教室から帰ってきて、多くの方が「楽しかった」「最高だった」と話していて、実行委員として達成感があり、とてもうれしかったです。実行委員自身も楽しめた自然教室でした。また、いつも仲良くしているメンバーだけでなく、様々な宿の方々との交流を深めることができ、クラスのメンバーとの仲も深まったように感じています。「人とのつながり」が多く生まれた自然教室でした。来年度の沖縄修学旅行も、帰ってきたときにみんなが「楽しかった」と思うことのできる行事にしていくことができるように、今回学んだことを活かしていきたいです。



自然教室から帰ってきた翌日、午後からの登校で、体育館での解団式と教室での振り返りを行いました。解団式では、各宿の宿長となった生徒一人ひとりから、それぞれの宿で体験してきたことの発表がありました。箸作りなど共通の体験もありましたが、同じ宿で過ごした仲間やお世話になった宿の方によって、その体験から感じたことや得られたことはそれぞれに違うようです。それぞれにとっての体験の価値を大切にしつつ、仲間の価値観も尊重し、黄学年での自然教室の思い出として共有してほしいと思います。

2学年主任 平賀 悠

振り返りでは、「自ら判断」することができたか、自分たちで作ったルールを守れたか、といった「できたこと」のほか、そのルールをどう改善できるかといった、これからの学校生活や来年度の修学旅行につなげていくための振り返りを行いました。その中には、「楽しめましたか？」という質問とその理由を回答する項目もありました。印象的だったのは、その理由を書こうとする場面で、「すべて、ではだめなんですか？」「楽しくないことが全然なかった。全部楽しかった。」というやりとりがあったことです。これからも様々な体験を楽しむ気持ちを大事にし、いろんなことに挑戦して行ってほしいと思います。

このように充実した自然教室にできたのも、西本郷中生を温かく迎えてくださった戸狩の宿の方々や地域の方々、そして実施までのさまざまな面でご協力いただいた保護者の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

部活動紹介



3年生にとっては6月から最後の夏の大会（ブロック大会を含め、市総合体育大会）やコンクール等が始まります。中学校生活で培った心と技と力を存分に発揮してもらいたいと思っています。今回は各部の部長による大会・コンクール等に向けた抱負を紹介したいと思います。

〈 バスケットボール部 〉

男子部長：原田 悠人

男子の抱負は『県大会出場』です。

私たちは先生方の指導のもと、日々考え、判断し練習に取り組んでいます。今回の夏の大会は3年生にとって最後の大会です。だから、1つ1つの練習において一生懸命に取り組み、その成果を出し切って県大会に出場したいです。

女子部長：臼田 愛未

女子の抱負は『県大会出場』です。

私たちは、3月まで選手4名、マネージャー1名という厳しい状況で活動をしていました。しかし、4月から新入生が入り、合わせて選手15名、マネージャー1名のとても賑やかな部活になりました。県大会出場に向けて、部活動全員と厳しい練習を乗り越え、試合では最後まで全力で戦います。



〈 剣道部 〉

部長：加藤 生弦

私たち剣道部は県大会出場という目標に向け、一人ひとりが課題を意識し、切磋琢磨しています。稽古の時には、互いにアドバイスをし合い、苦手なところを克服するよう協力しています。県大会出場に向け、チーム一丸となり、よりいっそう励んでいきます。

〈 ソフトテニス部 〉

男子部長：日力郁哉

男子ソフトテニス部は夏の大会に向けて、基礎の練習は必ず行っています。またそれぞれのポジションに必要な技術や動きも練習し、大会での優勝を目指しています。

また個々の実力だけではなく、ペアでの実力向上を目指し、ただ練習するのではなく、声を掛け合い、それぞれのペアにあった戦い方を見出しています。休日には試合形式を行い、自分たちの実力を知り、いいところ、改善点を見つけ、強くなっていきます。

男子ソフトテニス部は、部員全員がよき仲間であり、またよきライバルとして活動に取り組んでいます。

女子部長：稲毛柚月

私たち女子ソフトテニス部は、新入部員が7名入り、計36名で新チームとして、これからの大会に向け、日々成長できるように努力していきます。これからの季節は気温がだんだんと高くなり、熱中症などによるリスクが高くなっていきますが、体調に気を付けながら、一生懸命活動できたらと思っています。また大会ではベスト14に入り、上の大会に進めるよう1人1人、苦手な部分を克服したり、また得意なところを伸ばしていけるように練習に取り組んでいければと思っています。



〈 水泳競技部 〉

部長：石塚椋大

私たち水泳競技部では、今年ではできるだけ多くの部員が市大会、県大会、関東大会へと出場することを目指しています。そのために、わずかな水中トレーニングでは、部員全員が1秒でも速くなるように一生懸命練習しています。陸上トレーニングでは、泳ぐときに必要な筋力や体幹を中心に鍛えています。1年生がたくさん入って来てくれたおかげで、にぎやかな水泳競技部となりました。誰もが安全に過ごせるように頑張っていきます。

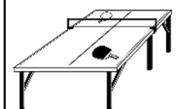


〈 卓球部 〉

男子部長：沖原 聡祐

女子部長：清宮 月琴

卓球部は1年生18人、2年生6人、3年生10人の計34人で活動しており、学年を通してみんなで仲がよく、良い雰囲気を取り組むことができている。新しい練習や形式を最近は取り入れて、全体で向上していけるよう個人戦や団体戦に向けてがんばっています。特に3年は今年で最後なので、県大会や関東大会に向けて精一杯練習していきたいです。



〈 陸上競技部 〉

男子部長：帖佐 晴真

女子部長：鈴木 桃

陸上競技部は、6月3日、4日に行われた神奈川県、関東、全国へと繋がる横浜市大会に向けて練習に励んできました。2名が神奈川県大会に出場が決まり、多くの3年生が自己ベスト更新や県大会出場を目指し積極的な走りを見せてくれました。

今年度は1年生が男女合わせて18人入部しました。次は、栄区大会、市総体、市駅伝に向けて、個人・リレー・総合とチーム力で満足のいく結果が残せるようにしていきたいと思えます。そのために、部員全員で協力し、質の高い練習を目指しています。また、効率よく練習が行えるよう学年の部員だけで固まらず、声を掛け合い1人1人が積極的に動くことが今のチームの課題です。部員も増え、チーム・仲間を大切に、どんな練習にも一生懸命に取り組んでいきたいと思えますので、応援よろしくお願ひします。



〈 野球部 〉

部長：齊藤 和希

野球部では上郷中との合同で市大会ベスト4を目標に活動しています。

3年生を中心に質の高い、練習、試合をするため一人ひとりが意識し取り組んでいます。また、人数が少ない中1、2年生と協力し、仲の良いチームを作っていくために雰囲気大切にしています。そして、チームの勝利のため、それぞれが課題を持ちながら活動することを心がけています。



〈 サッカー部 〉

部長：矢野 壮真

サッカー部では、神奈川県総合体育大会ベスト16を目標に、日々活動しています。そのため、練習の質にこだわり、仲間と声を掛け合いながら取り組んでいます。また、学年関係なく協力し合っていて、とても楽しく活動できています。

まずは、6月24日から始まる横浜市総合体育大会を勝ち抜き、神奈川県総合体育大会に出場したいと思えます。皆さん応援よろしくお願ひします。



〈 吹奏楽部 〉

部長：橋本 瑠利子

私たち吹奏楽部は、東関東大会出場を目標とし、日々練習に励んでいます。今年も部員全員がコンクールメンバーとして出場することのできるA編成に出場します。練習をしていく中で、同じ楽器の人たちで音の長さや音程を揃えたり、リズムを合わせたりしていくことは、とても地道な作業ですが、みなさんに良い演奏をお届けできるように頑張っています。また、これからコロナ禍以前のように演奏会を行う機会が増えてくると思えます。みなさんに楽しんでいただけるような演奏ができるように努力していきますので、応援よろしくお願ひします。



〈 演劇部 〉

部長：益子 未紘

私たち演劇部は、夏の大会で最優秀賞をとることを目標とし、日々練習に取り組んでいます。昨年度の夏の大会では、優秀賞という悔しい結果であったため、今年はこの目標を部員全員で目指しています。基礎の積み重ねを忘れずに、劇づくりを行っています。

また「まわりから応援される部活動」を主軸とし、私たちを支えてくれる人たちや周りの人への礼儀や感謝の気持ちを大切に活動していきます。

この2つの目標を達成できるように、頑張ります。

〈 囲碁部 〉

部長：村形 葵衣

私たち囲碁部は、「良(い)碁(ご)楽(らく)碁(ご)」を目標として活動しています。みんなで楽しく活動することによって、より良い部活を作っていくという意味をこめています。

現在は、7月に行われる団体戦に向けて部員一丸となって練習に取り組んでいます。特に3年生はこれが最後の試合となるので、より一層熱が入っています。

先輩方が作ってくださった目標を掲げ、全学年で仲良く真剣に活動していきます。



～ 今年度の神奈川県総合体育大会(県大会) ～

今年度の神奈川県総合体育大会は、「相模原ブロック大会」になります。7月27日(水)に開会式が「相模女子大学グリーンホール」で行われ、一部の競技以外は相模原市等の会場で開催されます。3年生にとっては最後の大会となります。会場によって応援の制限がありますが、是非、試合会場に足を運び、子ども達の成長(頑張る姿)を見ていただければ幸いです。

くすの木ルームだより

読むことや書くこと、計算が苦手、体調が悪い、人間関係で悩んでいるなど、様々な事情で学習に困難をきたして、学校に登校できない生徒がいます。

本校では、くすの木ルームで子どもたち一人一人が落ち着いて生活したり、自分のペースで学習できるようにしたりするなど特別支援教育を実施してきました。

平成5年度は、校内ハートフル事業（不登校児童生徒支援員配置）実施校になりました。くすの木ルームにハートフル支援員が常駐しています。生徒自身の必要に応じて学ぶ環境や生活環境を用意していきます。まずは学校の先生に声をかけてください。担任、特別支援コーディネーター、ハートフル支援員、副校長などでお話をうかがわせてください。その子にあった学習環境を一緒に考え、学びの機会を一緒に作っていきましょう。保護者の方もぜひ学校にご相談ください。

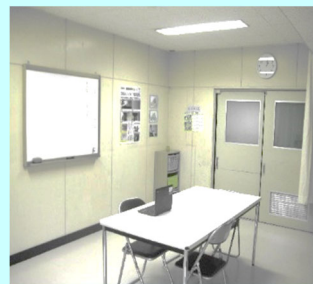
ハートフル支援員の藤本貢です。子どもたちと楽しく充実した1年になるように頑張っていきたいと思っています。また、子どもたち一人ひとりが自分の好きなこと得意なことを見つけ、それを伸ばしていけるよう支援していきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

くすの木ルームは、昨年度まで保健相談室だったところになりました。落ち着いた雰囲気の中で学習ができる環境にしています。現在は、子どもたちが使用しているクロームブックで各教科の学習動画を見て、基本問題やチャレンジ問題に取り組んでいく「デキタスでの自主学習」を中心にやっています。これからは、算数、数学、国語等のドリルや問題集を使用して、その子にあったペース等で学習できるように取り組んでいきます。休み時間には、読書やオセロゲームなどをして過ごしています。

夏休み明けの2学期からは、各学年の教室にカメラを設置して、くすの木ルーム内でクロームブックを使用して、教室の授業を見ながら学習するシステムを取り入れる計画になっています。

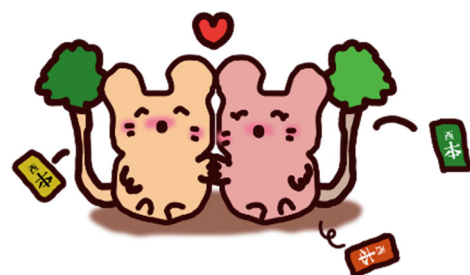
お子さんのことでお困りのことや心配ごと等がありましたら、ハートフル支援員は、くすの木ルームに常駐していますので、いつでもお気軽に声をかけてください。

ハートフル支援員 藤本貢



お知らせ

1. 個人面談 7月11日（火）～14日（金）
2. 学習相談 7月18日（火）、20日（木）
3. 大掃除 7月19日（水）
4. 1学期終了式 7月20日（木）



☆. **令和6年度神奈川県公立高等学校入学者選抜選考基準及び特色検査の概要**
⇒ **神奈川県教育委員会HPに掲載**

https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/senko_kijun.html

学校ホームページに掲載

- **令和5年度 中期学校経営方針**
- **学校予算 : 令和4年度決算報告書 令和5年度予算執行計画書**